



福音～エヴァンゲリオン～

シリーズ～新約聖書入門～

2017/1/8

「福音(エヴァンゲリオン)」とは

●『新世紀エヴァンゲリオン』

- 90年代から00年代にかけてヒットしたロボットアニメ「使徒」と戦う!「エヴァンゲリオン」とは福音を表すギリシヤ語「ユーアンゲリオン」の現代読み

●「福音」の語源

- ギリシヤ語の“ユー(良い)”と“アンゲロス(使者)”という語が合体してできた語
- 勝利を伝える使者のこと→吉報・良い知らせ
- 「福音」とはイエス・キリストによって人類にもたらされた良い知らせである

福音の始まり

• イエス・キリスト

- 弟子を育て、口頭での教え、癒しや奇跡を行い、罪人たちの友となり、十字架で死に、そして復活された
- ご自分の「証人」となれと命じて天に帰られた
- **何も書き残さなかった!**

• 語り伝える過程で「福音」が形作られた

- イエス・キリストの言葉や行動 > 口伝 > 福音書
- それらの解説・意義・解釈 > 説教 > 書簡

• 特に大切な事柄はまとめられていった

- 偽(にせ)の教えも出始めた
-

福音の中心

「最も大切なこととしてわたしがあなたがたに伝えたのは、わたしも受けたものです。

すなわち、キリストが、聖書に書いてあるとおりわたしたちの罪のために死んだこと、葬られたこと、また、聖書に書いてあるとおり三日目に復活したこと、ケファに現れ、その後十二人に現れたことです。」

〈コリントの信徒への手紙一 15:3~5〉

大切な3つのこと

- **「わたしたちの罪のために死んだ」**
 - キリストの十字架の死は「わたしたちの罪」の身代わり(贖罪死)であった
 - **「三日目に復活したこと、ケファに現れ、その後十二人に現れたこと」**
 - 罪の報いである死から復活することで、贖罪が完成したことを証明された
 - 弟子たちは復活したキリストに会った
 - **「聖書に書いてあるとおり」**
 - 旧約聖書に約束されていた>神の計画であった
-

福音に生きる

- **すべての罪から解放されている**
 - 過去の罪にも,死後の裁きにも怯える必要はない
 - **創造主なる神と不可分に結びついている**
 - 「神の子」として揺るぎなく愛されている
 - 世の終わりまでいつも神が共におられる
 - **復活の(永遠の)命を生きる**
 - この世のことで恐れるものは何ひとつない
 - この世の報いではなく,神の国の報いを求める
 - **神に愛されたように隣人を愛する**
-

福音を託されている

- **誰かが私たちに福音を届けてくれたように、私たちも誰かに福音を届けよう!**
 - 「最も大切なこととしてわたしがあなたがたに伝えたのは、わたしも受けたものです」
 - **福音を伝えることで福音の祝福にあずかる**
 - 「福音のためなら、わたしはどんなことでもします。それは、わたしが福音に共にあずかる者となるためです。」コリント一9:23
 - **最後の未伝地(日本)に福音を!**
 - 「まず、福音があらゆる民に宣べ伝えられねばならない。」マルコ13:10
-